

○ 有松まちづくりの会

○平成30年度 総会開催について

開催予定日時：5月17日（木）13：30～絞会館

○今年の研修旅行について

「松阪市・日本遺産斎宮歴史博物館・伊勢河崎・伊勢外宮を訪ねて」 開催日：4月26日（木）
チラシが同封されていますので、ご覧下さい。

○日本遺産認定について

伝統産業の絞り、重伝建の町並み、文化財の山車を中心にすえ、実行委員会を設け推進する。

○第3回 「ありまつ福よせ雛さんぽ道」を終えて（実行委員長 中濱 豊）

今年の福よせ雛は、有松東海道春の賑わいを増すため、新たに、絞りの着物着付け体験・撮影、有松絞りの十二単の髪結い&着付け公開実演撮影会、姫（ミニチュア）着物製作体験、甘酒&お抹茶の振る舞いなどを行いました。

おかげ様で有松への来訪者数は7000名を超え、この行事の認知度が浸透したと感じました。これも皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。また来年も開催したく皆様のご高配を宜しくお願い申し上げます。

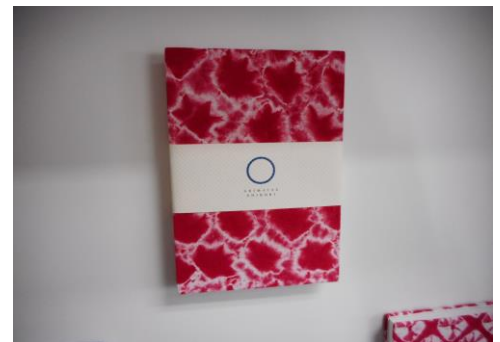


お抹茶の振る舞い

○ 有松観光案内処の運営について

名古屋市が運営していた有松観光案内処は、3月末日をもって閉鎖されましたが、旧山田薬局については、NPO法人コンソーシアム有松（CAN）が運営を引き継ぎ、4月末の開店をめざし準備中です。週6日オープンを目指し、案内業務に加えCANが開発した有松土産の販売を行う計画です。土産物に付けられるロゴマークも発表されました。

30年度を自走の試行期間とし、うまくいけば継続を予定しています。継続運営に対しCANは皆様の支援と協力を切に願っています。



ロゴマークが付けられた商品

○ 有松桶狭間観光振興協議会

○東町布袋車の大幕について（文嶺講からの報告）

大幕は200年以上経過し、傷みが激しく新調の予定です。文化財の大幕は今年で見納めです。

○ 有松天満社 春季大祭 (3月18日)

今年も春うらかな好天に恵まれ、お子様を含めたくさんの方がご参拝されました。参拝後、子ども達は境内のご神牛像の頭を筆で撫でて、学業向上を願っていました。

参道途中の踏切警護は有松消防団が行っており、テントを張って隊員募集もしていました。

○四條流包丁式特別奉納

包丁式が正師範の「崎柏正氏」(日本料理やまとの店主)によって奉納されました。



○北参道標柱設置される

北参道と駐車場整備計画の一環として、標柱が設置されました。



○ 「あないびとが語る 有松のお話会」開催 (3月18日)

有松あないびとの会発足15周年を記念して、「あないびとが語る 有松のお話会」が3月18日、天満社の春季大祭と同日に棚橋邸(大井桁屋)で行われました。

有松誕生物語の紙芝居「庄九郎と仲間たち」に始まり、有松よもやまばなし3題を朗読、頼山陽の「有松邸ヲ過ル」の漢詩を吟詠。次に、城山三郎氏の短編小説で戦時中の有松駅の出来事を書いた「捕虜の居た駅」を朗読しました。最後に現在の棚橋家当主の父君龍三氏(棚橋医院々長)の終戦秘話「お灸と指輪」を朗読し、拍手の中、お話会をお開きとしました。会場は満席、立見も出る70名程の参加者でした。



紙芝居「庄九郎と仲間たち」

○ 緑区観光ボランティアガイド育成講座開かれる (3月1日)

緑区役所講堂において、区主催の観光ボランティアガイド育成講座が60人を超える地元ガイドが出席して開催されました。中にはこれからガイドをやってみようという方も参加されていました。

例年、外部講師による講演が行われていましたが、今年は愛知の観光ボランティアの会の代表の方から、ガイドの心得を中心に1時間、講義があり、その後10のグループに分かれ、ガイドの心がけ、技量の身に付け方等をテーマにグループ討議、そして発表を行いました。

日頃の苦労話なども話し合われ、いい交流の場ともなりました。



グループ討議の発表

○ 服部正・良也家手斧がけ塀修復完了

東海道沿いの服部良也家から寿限無茶屋にかけて、鉦目（ちょうなめ）削りの塀があります。一昨年のやっとかめ文化祭公式プログラムの表紙に選ばれ、東海地方では有名な塀です。

長年風雨にさらされ痛みが激しく、修復することになり、2月末その工事が終わりました。

この塀の板壁には手斧を使って板材の表面に鉦目を残した仕上げになっていて、このような塀は他所で見ることのない大変貴重なものです。向かいの後藤家の塀も同様の仕上げになっており、有松東海道の美しい景観に寄与しています。



修復なった鉦目板塀

○ 小路名称看板設置される

有松桶狭間観光推進協議会が名古屋市に提案し、採用された有松の小路名称看板が5ヶ所設置されました。

これにより、線から面への有松探訪の一步になることが期待されます。

名称看板が設置された小路は次のとおり

- ・長坂道：有松東海道より古い道。「桶狭間道」「刈谷道」とも呼ばれていた。
- ・切り通し：有松天満社への参詣道。丘を切り開いた道。
- ・天王坂：牛頭天王おわします坂道。かつて坂の途中に、除疫の神・牛頭天王を祀る津島社があった。
- ・山与遊歩道：有松駅と有松東海道を結ぶ遊歩道。絞り商「山田与吉郎」さんに因んだ名。
- ・分かれ道：長坂道の地藏池付近から分かれた有松東海道への近道。



長坂道に設置された小路名称看板

○ 福よせ雛と大正琴演奏会

今年で3回目となる「春のありまつさんぼ道一福よせ雛と町歩き」が始まった初日（3月3日）、西の案内処で大正琴の演奏会がありました。

日頃有松コミセンで練習しておられる成果の披露です。曲目は、春にちなんだ曲で「うれしいひなまつり」「早春賦」などを演奏されました。大正琴の哀調ある音色が会場から東海道へと流れ、それにつられ立ち寄った方も見えました。

大正琴の演奏は、有松の春の風物詩となりつつある福よせ雛に華を添えるかたちになりました。



福よせ雛を前に大正琴の演奏

ボーイスカウト名古屋第51団のボーイ隊の1級挑戦キャンプが、有松天満社の中広場で一泊二日の日程で行われました。

準備品チェックから始まり、開村式の国旗掲揚のポール立て、開村式、テント張り、食事作り、後片付けなどすべて自分たちで行いました。

夜の進級課目も含め、4回の進級課目をこなし、2日目の閉村式で終了しました。



開村式

○ 小鳥がついばむ「ありまつ公園のさくら」

ありまつ公園の桜は、区画整理時に伐採の話が出ましたが、長年地域で親しまれてきた桜。公園愛護会の強い保存の要望で残されました。樹木医の手当もあり、今ちようど満開となり、美しい花を咲かせています。

ところでこの桜花にはちょっとした話があります。それは「この桜花は大変甘い」と毎日桜花を見ている近くの古老が云っています。それは小鳥がたくさん来て花の蜜を吸っているが、近くの小学校の桜にはあまり小鳥は行かない。小鳥が吸った花は軸ごと沢山落ちていました。

実際に花を吸って比較したら、ありまつ公園の桜の方がほのかに甘かったそうです。

なお、この桜は昨年枝を挿し木にして子孫を残そうとしましたが、挿し木は根付きませんでした。



小鳥によって落ちた軸付き桜花

○ 催事・行事の予定

- ・4月01日(日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会(仮称)
- ・4月08日(日) 15:00 第4回上方落語 桂九雀 寿限無茶屋
- ・4月15日(日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会(仮称)
- 〃 13:30 NPO法人桶狭間古戦場保存会 総会 桶狭間公民館
- ・4月16日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- ・4月22日(日) 07:30 かえで道の清掃
- 〃 10:00 第二期 第1回桶狭間塾 桶狭間公民館 NPO法人桶狭間古戦場保存会
- ・4月23日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- ・4月24日(火) 18:00 有松桶狭間観光振興協議会役員会 絞会館
- ・4月26日(木) 08:00 まちなみ研修「日本遺産 斎宮博物館等を訪ねて」 ありまつ公園
- ・4月28日(土) 09:00 平成30年度ミス絞り発表会 絞会館 絞りまつり実行委員会
- 〃 10:00 有松町並み見学会 有松あないびとの会発足15周年記念 ありまつ公園

発行者：竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 副会長)

編集者：加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索